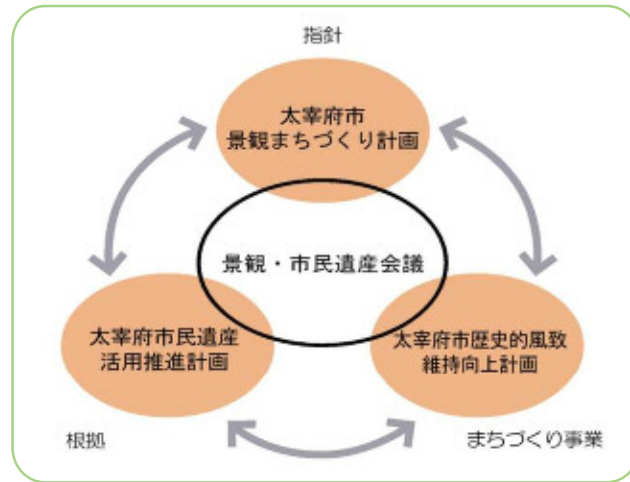


■太宰府市景観・市民遺産会議とは

—百年後も誇りに思える美しいまち・太宰府をめざす、協働のまちづくりの会議—

景観・市民遺産会議は、条例で位置づけられた3つのまちづくりの計画を動かしていく市民、事業者、行政の協働組織です。



●景観・市民遺産会議の構成メンバー

太宰府観光協会、太宰府市自治協議会、太宰府天満宮、商工会（観光・商業・工業）、有識者、太宰府市（建設経済部・教育部）、景観・市民遺産育成団体（現在 14 団体）

・太宰府市の景観と市民遺産を守り育てる取り組み

市では、平成 22 年に「太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例」を設け、景観計画に基づく市域の良好な景観形成と、市民主体で地域のたからを守り伝える活動を市民・事業者・行政の三者協働で支えるしくみ「太宰府市民遺産」の取り組みを進めています。

市民遺産は、市民一人ひとりが「大事だな」「未来の太宰府に伝えたい」と思う太宰府固有の物語と、その基礎となる文化遺産、それらを伝えていく活動とを合わせたものをいい、景観・市民遺産会議において市民が提案し、会議によって認定されたものが「太宰府市民遺産」となります。

■太宰府市民遺産認定に関する指標

太宰府市民遺産は、景観・市民遺産会議の納得をもって認定されます。納得のためのめやすとして、以下の指標が設定されています。

①伝えたい太宰府固有の物語である

・将来に守り伝えていきたい物語が、地域の人々や市民が共有でき、納得できるものである。

- 太宰府市民が大切に思う物語である。
- 市民が共有しやすい、納得できる。

【納得できる価値の説明】

②物語が、文化遺産で構成されている

・物語が文化遺産で構成され語られている。

- 文化遺産の所在が明らかである。
- 文化遺産の所有者等が明らかである。
- 構成する文化遺産の履歴、意味、育成すべき価値などが明らかとなっている。

【完全性・真正性】

③文化遺産を保存活用する活動である

・自立したかつ継続的な活動である。
・文化遺産の育成にふさわしい活動である。

- 自立した活動である。
- 継続性を見込んだ活動である。
- 他団体等との連携に配慮されている。
- 育成したい文化遺産の所有者・管理者に対し、了解が得られている。
- 育成活動が、文化遺産の価値を保存活用するにあたって適切な活動である。

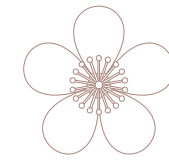
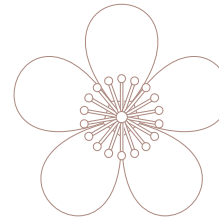
【持続可能性】

■太宰府市民遺産についての問い合わせ先



景観・市民遺産会議ホームページ
http://www.市民遺産.jp/

景観・市民遺産会議事務局（太宰府市教育委員会文化財課）
〒818-0198 太宰府市観世音寺1丁目1番1号
☎092-921-2121（内線472）



第5回 太宰府市景観・市民遺産会議

日時：平成 27 年 2 月 21 日（土）13：00～16：10

場所：九州国立博物館ミュージアムホール

会場資料

- ❖ プログラム ……1
- ❖ 提案市民遺産候補 1：「太宰府の梅上げ行事」 ……2
- ❖ 提案市民遺産候補 2：「高雄の自然と歴史」 ……3
- ❖ 太宰府市景観・市民遺産会議とは・太宰府市民遺産認定に関する指標 ……4

- プログラム -

12：30 開場

13：00 開会

I. 第1回だざいふ景観賞 表彰式

II. 平成 25 年度認定の太宰府市民遺産の活動報告

◆太宰府市民遺産第 9 号「^{かるかや}苳萱の関跡とかるかや物語」/かるかや物語を伝える会

III. 太宰府市民遺産候補の提案と認定採決

◆市民遺産候補 1：太宰府の梅上げ行事/太宰府梅ばやし隊

◆市民遺産候補 2：高雄の自然と歴史/高尾山の自然と歴史を語り継ごう会

IV. 市民遺産関連ステージ

◆筑前琵琶^{かるかや}「苳萱物語」/演奏：^{てらだちょうび}寺田蝶美

V. 市民遺産認定書授与式（市民遺産候補が認定された場合のみ行います。）

16：10 閉会（会議の進行状況によって、終了時刻が多少前後する可能性があります。）

※ミュージアムホール前では、認定市民遺産やだざいふ景観賞受賞スポットを紹介するポスターセッションを開催しています。



第1回だざいふ景観賞 大賞
「甘木屋」



寺田蝶美

提案市民遺産候補1：太宰府の梅上げ行事

提案団体：太宰府梅ばやし隊

【伝えたい物語】

「梅上げ」とは、初老（40歳）を迎える男性、還暦（60歳）を迎える男女が、それぞれ厄払いとして太宰府天満宮に梅の木を献ずる太宰府特有の行事です。

梅上げは3月に行われ、中央公民館を出発点に「どんかん道」「さいふまいの道」や参道を通して、梅の木を飾り付けた牛が引く荷車、三味線・鉦、太鼓のお囃子隊が列を連ね、両の手に持つしゃもじを打ち、お揃いの法被と手ぬぐいの装束で紅白の小餅を道行く人やお接待の人たちに配りながら練り歩きます。最後に天満宮の境内の一角に牛にひかせた梅の木を植樹します。行列を待ち受ける沿道の家々や参道の土産物店も今か今かとお接待の準備をして待ち受けたり、参加者の家族が沿道の一角にテーブルを運んできてお接待をする様子は、この時期の太宰府の風物詩となっています。

梅上げの歴史は、明治35（1902）年に行われた太宰府天満宮菅原道真公御神忌一千年大祭に遡り、その際、博多の高砂連600名が太宰府の街中を練り歩いて天満宮に奉納したことがその起源として伝えられています。また、一千年大祭に併せた境内の整備に伴って梅の木の植樹が始まり、この時、氏子を中心とした太宰府の人たちが初老、還暦の祝い行事を太宰府小学校同窓生と一緒に天満宮に梅の木を奉納しようという「梅上げ」の献梅行事として始まったとも言われています。

当初、梅上げの先頭を行く「お囃子隊」は、初老、還暦を迎える人たちの家族や知り合いなど太宰府に縁がある人たちによって少ない時は2～3人、多い時でも10数名の人たちにより三味線、太鼓のお囃子隊が先導していましたが、太宰府市内で三味線、お囃子を永年続けられている方々の中から声があがり、50数名が集まって平成24（2012）年「太宰府梅ばやし隊」が発足しました。

今後とも、太宰府地域特有の個性ある伝統行事である梅上げがいつまでも続いていくよう、太宰府の伝統文化を育成・継承していきます。

【物語の基礎となる文化遺産】

- 梅上げ行事
- 梅上げ関連各社新聞記事
- 梅上げ古写真
- 梅上げ写真・アルバム
- お囃子隊
- 天満宮境内の献梅と立札（石碑）
- 梅引き台車
- 梅引きの牛 など

【育成活動】

- ①梅上げのお囃子隊の同行とその育成
- ②梅上げの写真を集める活動
 - ・展示会や広報等での呼びかけ
- ③その他の取り組み
 - ・看板設置やホームページによる梅上げ開催の広報活動
 - ・「梅上げ」写真展の開催など



明治22年丑年生まれ初老梅上げ（昭和4年）



梅上げの隊列



沿道でのお接待



梅引きの牛と台車



手ぬぐいと紅白餅



太宰府梅ばやし隊



梅の植樹のようす

提案市民遺産候補2：高雄の自然と歴史

提案団体：高尾山の自然と歴史を語り継ごう会

【伝えたい物語】

高雄地区は太宰府市の東南に位置し、北には標高151mの高尾山があり、中央部には高尾山を源流とする高尾川が流れる自然豊かなところです。

高尾山は、古くは『筑前国統風土記』をはじめとする史料に見られ、山頂付近には、同史料に伝えられる高尾山城址があります。また、江戸時代末期に太宰府天満宮に参拝した秋月藩士の紀行文『安楽寺参詣日記』に、秋月を出発し、高尾山を越えて、太宰府天満宮に向かう際の様子「さばかり高からぬ山なれど遠近が見渡されて心ゆく所なり」と記されるなど、太宰府天満宮の参詣道として多くの往来があったことがうかがえます。

高雄地区の歴史を物語る文化遺産として、弥生時代の甕棺墓（吉ヶ浦遺跡）や、古墳（菖蒲ヶ浦古墳群、吉ヶ浦古墳群など）や住居跡があり、古代から人々が高雄地区に生活していたことがうかがえます。さらに、高尾山山頂付近の大行塔では神幸式大祭の前に太宰府天満宮による神事が行われます。その他にも高雄公民館近くには大行塔・猿田彦大神が、各家には屋敷神である大師・薬師如来・馬頭観音などの石像群が祀られています。これらの文化遺産群は、地域の人々によって現在に至るまで大切に守り受け継がれてきています。

現在の高雄地区は開発が進みつつありますが、四王寺山（岩屋城址）からは高尾山一帯の緑豊かな自然を一望することができます。高尾山中ではタヌキや野ウサギなどの小動物やメジロ、ウソ、カワセミ、モズなどの鳥類、高尾川では上流でホタル、中流でハヤ・コイ・フナなど、四季を通じて様々な動物を見ることができます。

私たちは、このような誇るべき「高雄の自然と歴史」を記憶にとどめ、さらに地域住民や子どもたちに伝え、未来の人々へ残すことを願って活動していきます。

【物語の基礎となる文化遺産】

- 高尾山
- 高尾川
- 高尾山城址
- 一字一石塔
- 大行塔
- 大師様
- 大師石像ほか など



岩屋城址（四王寺山）から見た高尾山



高尾川



高尾山の大行塔



高雄公園の石仏群

【育成活動】

- ①文化遺産の存在の周知活動
 - ・文化遺産めぐり
 - ・文化祭での展示
 - ・講演会の実施
 - ・小中学校への出前講座
 - ・地蔵公園・高雄公園の活用
- ②文化遺産の継続調査
 - ・今はなくなっている古道、風習、遊び、唄等の調査
 - ・文献調査
- ③「豊かな自然」の保護活動
 - ・生き物観察会
 - ・山や川の清掃活動
 - ・写真撮影会と展示



太宰府南小学校建設地と菖蒲ヶ浦古墳の発掘調査



文化遺産調査のようす